

第5号

酪農とちぎ



盛夏

エルニーニョ発生による
冷夏の懸念も今のところな
く、連日猛暑が続き高温記
録更新中の昨今です。

心配した台風襲来による
農作物被害は最小限に済み、
牧草収穫も大詰め終了かと
察します。

粗飼料収穫も、近年ロー
ルベール方式の普及と共に
品質が安定し、飼養技術向
上とマッチングし、個体能
力アップに寄与しています。
良質で安全な粗飼料確保が
求められており、自給飼料
の増産に心がけたいもので
す。

ここ当分、猛暑との闘い
になります。互いの健康管
理に留意し、乳牛の防暑対
策にも配慮され、乳質管理
需要期増産にお励み下さい。



第一回通常総代会を開催

施設合理化・資本の造成を核に
効率的運営をめざす



あいさつを述べる
花塚県農務部長



あいさつを述べる
和田県酪連会長



議長団の高崎和夫氏(右)
及び金田修一氏(左)

酪農とちぎ第一回総代会を六月二十七日、高根沢町民ホールに総代百七十八名が出席して開催しました。当日は定刻午前十一時、越井副組合長が開会を宣し、前田組合長より酪農情勢及びBSE対応等を含め、合併初年度の経過、二年度の事業方針について詳細な報告がなされました。

続きまして、花塚功先県農務部長、和田恭三県酪連会長から祝辞を頂きました。

議長団には高崎和夫氏(黒羽町)金田修一氏(宇都宮市)が選任され、提出第一号から第八号議案まで慎重に審議し、全議案とも原案通り可決承認を得ました。

特に第八号議案、役員選任につきましては、既に役員推薦会議で承認された理事二十名、監事四名が投票の結果選任されました。

続いて新役員の自己紹介、退任役員を代表して越井副組合長が挨拶を述べ、菊池副組合長が開会を宣し終了しました。

当日の出席状況

定数百八十六名、本人出席百四十名、書面議決三十七名、委任一名

主な質疑、意見要望事項

教育情報資金の繰越について
繰越剰余金について
役員定数について
役員退任慰労金規程について
事務通知等の合理化について
乳質格差について
診療事業の強化について
受精卵移植事業の助成について
二年度収支計画について
乳価交渉の進捗状況について
関東生乳販連について
全共栃木開催について



支所別説明会開く

酪農とちぎは総代会制になっており、全組合員に初年度事業実績及び二年度事業計画について報告し、皆さんからの要望、意見を頂くこととし、六月六日から十四日まで三支所五会場で開催しました。

各会場とも、合併初年度による各部事業内容、合併メリット成果BSE対応等の質疑、意見を頂き盛会であった。

主な質疑、ご意見等

各種奨励金、助成金について
酪農ヘルパーについて
乳質保全規程について
増資計画について
BSE対応について
全共栃木開催について



宇都宮支所説明会
(塩谷地方農業共済組合)



新役員紹介

新執行体制決まる

通常総代会において新役員が選任されたことにより、同日理事会及び監事会が開催され、常勤理事四名、非常勤理事十六名、監事四名の新しい執行体制が決定されました。



専務理事
渡辺 勲 男



代表理事副組合長
相馬 俊市



代表理事副組合長
菊池 一郎



代表理事組合長
前田 忠利



理事
大阿久 要



理事
梅野 専一



理事
上野 清



理事
伊藤 謙三



理事
坂主 正



理事
斎藤 修



理事
小針 勇



理事
小林 幸雄



理事
菊地 右



理事
粕谷 利益



理事
和田 輝勝



理事
渡辺 信一



理事
松山 秀夫



理事
松原 勇



理事
前原 博



理事
中島 隆



総代会での新役員紹介



監事
八木沢 晟次



監事
藤田 哲郎



監事
熊谷 貞二



代表監事
加藤 一男



前田組合長の叙勲祝賀会 一七〇名が盛大に祝う

前田組合長の勲五等瑞宝章受章祝賀会が六月十七日、県酪連・県畜産協会・酪農とちぎ共催により、宇都宮市内ホテルに關係者ら百七十名が参席して盛大に開かれました。

祝賀会は、菊池一郎酪農とちぎ副組合長の開会、和田恭三県酪連会長の発起人代表挨拶に始まり、摩庭桂酪農とちぎ副組合長から功績披露の後、花塚功先県農務部長、上野千里全酪連会長より祝辞を頂きました。

続いて、豊田計県畜産協会会長から記念品が、酪農とちぎ職員から夫妻に花束が贈られ、前田組合長は、「このたびの叙勲受章は県を始めとする諸機関の皆様、多くの諸先輩及び役員皆様のご指導とご協力の賜と深く感謝申し上げます。今後共職責を全力で全うしたい」と力強い御礼の挨拶を述べました。祝宴は越井光男酪農とちぎ副組合長の乾杯発声により、多くの参席者が同組合長の功績と受章を祝いました。



謝辞を述べる前田組合長

結びは藤原林次郎県信連会長の万歳三唱、坂本泰三酪農とちぎ副組合長の挨拶でお開きとなった。前田組合長は、昭和二十二年に前田牧場の先駆者として就農し、現在は後継者の宏幸さん夫妻が九十頭経営を継承しています。また、酪農とちぎ組合長のほか県畜産協会理事、関東生乳販連理事を務められておりますが、先日県酪連会長並びに関東酪政連会長に就任されました。皆さんと共にご功績と受章を讃え今後の活躍を祈念申し上げます。

東西南北

【那須高原支所】

ソフトボール大会開催
七月十八日に、地域酪農組合十支部対抗によるソフトボール大会を開催し白熱した試合が展開され、皆様のご協力により交流を深めることが出来ました。試合結果は次のとおりです。

- 優 勝 青木支部（黒磯）
- 準優勝 高林支部（黒磯）
- 第三位 西那須野支部（西那須）
- 支所事業予定

八月八日 全体研修会
八月二十八日 支所ゴルフコンペ

【宇都宮支所】

まだ間に合う暑熱対策
乾物摂取量がポイント
夏場の飼養管理は、大きくカウコンフォート 栄養バランスを考慮した給与管理の二つに集中して下さい。まずは、の牛の快適性ですが、牛舎内温度を極力下げること、もしくは牛体を直接冷やしてやることです。フリーストール牛舎の事例で、シャワーを設置

し水浴びをさせている農場もあります。また繋ぎ牛舎であれば、後頭部から頸部にかけての毛刈りも有効的です。次に、の給与管理ですが、まずは乾物摂取量（DMI）の減少を抑えることです。それには消化性の高い粗飼料の給与や気温が高まる前の早朝に給与する等の工夫が大切です。そして摂取させる飼料の栄養口入を少なくとも有効に利用出来ることを第一に考える乳牛の栄養要求量を充たしてやることです。まずは、実行してみして下さい。なお、詳細な飼料給与に関しては指導課にご相談下さい。

支所事業予定
八月三日 全体研修会

【栃木県南支所】

巡回指導を強化
指導課ではこれまで以上に巡回いたします。県南支所では経済課も同行することもありますので、諸々の御相談を下さい。また、最長二ヶ月待ちであった老廃用牛出荷が、二週間待ちとなり、さらに改善する見通しですのでお問合せ下さい。

支所事業予定
八月下旬 全体研修会



部課だより

生乳販売部

乳価値上げに向け鋭意交渉中

今年度の乳価交渉については、大幅な値上げ実現に向け各指定団体・酪政連・中央酪農会議及び関係機関が一丸となって取り組んでいるところです。

乳価値上げに向けての取組方法として例年と違い、乳業者に対して値上げを要求するに当たり、今まではややもすると酪農対乳業メーカーという構図での交渉となっていました。酪農・乳業対流通ということを進めていきました。これは仮に乳価値上げされても、卸価格及び販売価格を値直ししなければ、結局最後には乳価の値下げに連動してしまうという悪い流れを断ち切ることが不可欠となるからです。

乳価の値上げを通じて、牛乳の納価、小売価格の適正化を図ること

により生・処・販が互いに良い方向へ進むことが重要となります。我々生産者団体としても、乳業者の値直しが早期実現できるよう目玉商品（安値価格）の市況調査を行い、市場環境整備に努める支援を行う予定です。

全国の交渉状況は、九州地区においては値上げ実現に向け最終的な段階にあり、一部農協プラントでは値上げに心じているとの情報があります。中国地区におきましても鋭意交渉中であります。関東においては、大手八社を中心に交渉を重ねておりますが、一部においては流通サイドと具体的な交渉に入っており、今後の進展に期待しているところです。

県南CS業務を栃木明治に移行

県南地域経営合理化協議会で検討しておりました県南CS統廃合計画は、栃木明治㈱の拡設工事完成により、五月三十日から栃木明治に統合し、日均三〇トンが移行されました。



市乳販売部

全国第二位の生乳生産に恵まれた環境と大消費地を近距離にある地理的条件を活かし、酪農家の皆様が生産された生乳を酪農とちぎ那須工場で市乳化し、県内をはじめ首都圏一円に明治乳業㈱及び東京明販㈱の販売網を活用しながら消費者の食卓にお届けしております。市乳の販売は、旧三和酪農協同組合が昭和四十九年に酪農牛乳（通称ママ牛乳）製造販売を開始し、翌年の昭和五十年には酪農直販株式会社（現在は東京明販㈱）

を設立して本格的に販売を開始し現在に至っております。

市乳販売部の機構は、市乳販売課・市乳直販課及び那須工場、取扱い製品は十四銘柄の内、市乳販売課の扱製品十銘柄は明治乳業㈱及び東京明販㈱と連携を保ちながら、東京都・千葉県・埼玉県・茨城県を中心に委託販売しております。また、市乳直販課は四銘柄を取扱い、スーパー及びJ A全農とちぎ宅配事業の「ふれあい牛乳」として販売しております。

特に、「那須のこだわり牛乳」につきましましては、那須地区酪農家の皆さんに協力を得て生産者の「顔の見える牛乳」としてパッケージをリニューアルし販売を開始したところでもあります。今後とも愛飲下さるようお願いいたします。

酪農部

BSE対策特別措置法及び関係法令の改正が施行されました。（平成十四年七月四日施行）

満二四ヶ月齢以上の死亡牛は



管轄の家畜保健衛生所に届け出ることが義務づけられました。又、平成十五年四月一日からは原則として法に基づくBSE検査を受けることとなります。更に牛の所有者は、牛一頭ごとに固体を識別するため耳標をつけ、生年月日、移動履歴等の情報提供が義務づけられました。

詳しくは畜産振興課より「酪農家・肉用農家の皆様へ（第二報）」資料が配布されています。不明な点がございましたら所轄支所の指導課までお問い合わせ下さい。

指導課

各組織活動の新たなスタート

地域酪農組合（七四五名）・青年部（三二一名）・女性会（六七八名）・酪農ヘルパー利用組合（三三三名）は、それぞれ通常総会を開催し、設立初年度の事業報告並びに今年度の事業計画及び任期満了による役員改選が行われました。選任されました役員は次の方々です。



地域酪農組合（正副組合長）

地域名	組合長	副組合長
宇河・今市	小林 幸雄	広田 治則
河内南・下都賀	大阿久 要	前原 博
芳賀	上野 清	大島 浩
那須南	小森 幸雄	石崎 忠良
塩谷	加藤 一男	羽田 栄
大田原	粕谷 利益	坂主 正
塩原・西那須野	八木沢晟次	松原 勇
那須	伊藤 謙三	中島 隆

黒磯	渡辺 信一	相馬 俊市	岡田 建史
	菊地 右		
	印南 昇		

青年部本部役員

役職名	氏名	支部名
部長	渡辺 透	塩原・西那須野
副部長	高山多受男	河内南・下都賀
	植木 茂	宇河・今市
会計	八木沢洋次	那須
監事	相馬 健造	大田原
	大田原 毅	黒磯
委員	大島 秀樹	芳賀
	桧山 嘉男	那須南
	青木 憲男	塩谷

女性会本部役員

役職名	氏名	支部名
会長	今 克枝	那須
副会長	田中 克予	塩谷
	榎本 清子	河内南・下都賀
会計	小針 成代	黒磯
監事	広田 純子	宇河・今市
委員	伊藤 幸子	塩原・西那須野
	塩野目美津子	那須南
	藤田 洋子	大田原
	永嶋志保子	芳賀

酪農ヘルパー利用組合本部役員

役職名	氏名	支部名
組合長	渡辺 信一	那須高原
副組合長	大島 清志	宇都宮
	小薬 芳雄	栃木県南
会計	八木沢晟次	那須高原
監事	森 正美	宇都宮
	館野 透	栃木県南



酪農ヘルパー利用組合本部組合長
渡辺 信一



女性会本部長
今 克枝



青年部本部長
渡辺 透



経済課

酪農とちぎ第4号で十四年度の重点取り組みの概略をお知らせしましたが、今回はそれらについての具体的取り組み及び進捗状況等についてお知らせします。

*** 組合指定配合の普及及び購買品の組合利用推進について**

この秋口からの指定配合への切り換え及び購買品の組合利用推進を図るため、担当職員による農家巡回を各支所毎に七月から実施しております。今年度中に一農家に対し二～三回の定期巡回を実施し、普及推進に努める計画となっておりますので、組合員の皆様には主旨をご理解頂きより一層のご協力をお願いしたいと思います。

*** TMRの普及推進について**

現在、酪農とちぎでは雪印（ウエットタイプ）、明治・全酪（ドライタイプ）3社のTMRを推進しております。その中の雪印と明治については、利用者の意見等を聞きより良いTMRを作り上げるこ

と、利用者相互の意見交換等により個々のレベルアップを図ること等を目的とした利用者の会を立ち上げて事業を進めております。

労力の軽減や生産性の向上等によりトータルコストの低減を図るという観点から、今後さらにニーズが高まると予測されますので、当組合としても積極的に推進していく考えであります。

現在のTMRの普及状況は3社合わせて六二戸の利用（雪印三四戸、明治二〇戸、全酪八戸）となっており、三社共に供給能力はまだ充分ありますのでご利用を検討して頂ければと思います。

*** 直送の推進について**

十三年度の配合飼料の直送実績は、平均三、一九二トン/月、直送率約六〇%となっております。現状でもまだ直送可能農家があると考えられることから、定期巡回等により推進に努めております。直送になるとトン当たり二、一〇〇円の奨励措置（価格折込）が受けられ、かなり大きな購入飼料費の軽減となるため積極的に推進し

て行きたいと考えております。現在直送出来ない組合員の方ももう一度直送基準（大型バルク車が庭先まで入れて1回の配送量が二・五t～三t以上）を確認しクリアされる場合は支所にご連絡ください。

*** 倉庫施設の合理化について**

現在、高原支所管内の合理化をすすめており、七月一日より地域組合員の方のご理解を得て西那須野事業所での飼料取扱いを中止し（若干の資材等のみ扱い）県北サブ配送センター（北部運送倉庫）に移行し業務を行っております。

今後、黒羽事業所での業務を地域組合員の方のご理解を得たうえで出来る限り早く、北部サブ配送センターに移行し業務の合理化を図りたいと考えておりますので、ご協力をお願いしたいと思います。



家畜市場成績

市場名：西那須野市場

群馬：館林市場

単位：円

単位：円

開催期日	7月20日				
種別	成立頭数	平均体重	最高	最低	平均
ホルス雄	110		70,350	2,100	49,633
F1雄	103		182,700	55,650	119,313
F1雌	77		102,900	39,900	69,586

開催期日	7月17日				
種別	成立頭数	平均体重	最高	最低	平均
ホルス雄	9	69	85,000	50,000	69,888
F1雄	7	73	145,000	101,000	132,143
F1雌	9	70	127,000	84,000	100,444



六月度理事会

協議事項

- (一) 執行体制について
- (二) 副組合長の順位について
- (三) 役員 の 席 順 について
- (四) 外部団体等の役員選任について

七月度理事会

報告事項

- (一) 農業近代化資金貸付について
- (二) 組合員の加入について
- (三) 夏季手当の支給について
- (四) 平成十三年度乳肉複合経営

春夏秋冬



五月六日の全国新聞各紙に、「牛乳は安すぎると思いませんか？」の広告が掲載されたのをご覧になった方もいらっしやると思います。これに対して、消費者から五〇〇通を超える意見と要望が寄せられました。意見の約六七％は広告の趣旨に賛同するものでしたが、約十四％の消費者からは厳しい反対の意見が寄せられていました。

意見の内容で最も多く見られたのは「食の安全確保」に対する意見で、他には「他産業も厳しいのだから酪

体質強化事業について

協議事項

- (一) 五月度事業実績について
- (二) 専門委員会分担について
- (三) 地域合理化検討委員会について
- (四) 理事及び監事報酬について

七月分乳代精算日の変更

毎月乳代精算日は十七日ですが、八月は金融機関が休務日となりましてので十九日(月)に変更させて頂きます。

休日のおしらせ

次のとおり、夏期休業となりましてので、飼料等の残量をお確かめの上、ご注文はお早めをお願いいたします。

農業界内でも努力すべき」との意見もあつたようですが、そのいくつかをここに紹介します。

牛乳は本当に安いと思う。生産者が不当に犠牲になっているように思う。

牛乳が大好きで毎朝食時に飲んでいる。雪印商品以外でその日の安売り品を買っています。

生産者の収入が確保されており、小売の段階で安くされているのなら良いが、安売りのしわ寄せが生産者に来るとは納得できない。安くなった分、消費が増えるのではないか。

牛乳の値上げをしたければ勝手に上げればよい。私は豆乳を飲み

ます。

尚、検査業務は通常通り行っております。

おります。

八月十四日(水)

八月十五日(木)

八月十六日(金)

夏期休暇

牛乳料理コンクール

牛乳・乳製品を使用したオリジナルメニューを募集しております。八月三十一日(土)締切。詳しくは栃木県牛乳普及協会又は各支所までお問い合わせ下さい。〇二八―六六四―三六一―まで



ます。

外国の牛乳に比べて日本の価格は高い

消費者から見た場合、同じ成分の牛乳であれば安いのを買うのはあたりまえです。

どうして牧場で飲む牛乳はおいしいのか。ビン詰め牛乳もうまく感じる。おいしい牛乳づくりの努力を望みます。

生産者の方は安全でおいしい牛乳づくりに努力されていると思うが、努力・姿勢が消費者に伝わって来ない。

最近が高いから安心がイコールではない。安心はお金では買えません。信用もお金では買えません。

編集後記

第一回通常総代会が盛會裡に開催できました。会場が初めての方も多く迷われたかと思いますが、遠路ご出席大変お疲れさまでした。全議案とも原案通り承認を得、また貴重な意見を頂きありがとうございます。世界の祭典「ワールドカップ」が盛大の中にタイムアップ。各国の一流プレーヤーの美技と多くのドラマ・感動に魅了され一日の疲れ回復剤になった。特に我がニッポンの大健闘を讃えたい。視聴率も東京オリンピックに次ぐ歴代第二位を記録したそう。はたして経済効果はいかほどか。

私たちが信用できる製品を提供してください。

等、消費者の感じ方もまちまちですが、これらは全て消費者の声であることに違いありません。生産者として素直に受け止めねばならないと感じます。

このところ台風の襲来が頻繁である。七月十日に台風6号、十六日に台風7号と立て続けにやって来た。いづれも風がやや弱いタイプの雨台風であったため、作物の被害は少なく済んだようだが、あまり有難くない来訪者である。ともかく梅雨が明け、今年もまた乳牛にとって大変暑い夏がやってきた。(W)

